

退職者 NO.151 -

こだま会報



発行日：2026年2月15日／季刊第151号
 編集・発行：神奈川県職労連退職者こだま会
 〒231-8588 横浜市中区日本大通1県庁地下1階
 発行人：加瀬文隆
 ☎045 (212) 3179 (代) Fax 045 (212) 3178 (代)
 Eメール kodama@kodamakai.sakura.ne.jp
 URL http://kodamakai.sakura.tv/

晩秋の日向薬師から七沢へ散策

てく・テクの会

笈川和男

仁王様に迎えられ
 日向薬師でバスを下車。なだらかな登り、100mほどで急な階段、階段脇に日本三薬師との案内があります。(あと二つは高知県の柴折薬師、新潟県の米山薬師だが、諸説あるらしい。)
 そして雨が降ったら滑りそうな不揃いな石段の登り、木造の立派な山門、仁王様が笑みを浮かべ迎えてく

■ 11月27日朝、伊勢原駅に、総勢23人、元気な顔が集まりました。
 ■ 行程は八世紀創建の古刹・日向薬師、小林多喜二の隠れ家を訪ね、七沢で美味しい地ビールで喉を潤す散策。
 ■ 9時50分発、日向薬師行きのバスに乗車、快晴でバスの中は汗ばむ暖かさでした。



仁王様がお出迎え



茅葺き屋根の日向薬師

多喜二が隠れ住んだ離れ
 日向薬師を出る頃には曇り空になり、林道の登り道を歩くと「クマに注意」看板が。下り始めると雨がポツリポツリ。

■ 宝殿内の本来のご本尊は平安時代に造られ、鎌倉時代に造られたのも宝殿内に。本堂の薬師如来は江戸時代に造られたとの説明でした。
 ■ 宝殿内の本来のご本尊は平安時代に造られ、鎌倉時代に造られたのも宝殿内に。本堂の薬師如来は江戸時代に造られたとの説明でした。

れました。
 ■ ほどなく最後の石段を登ると日向薬師が迎えてくれました。
 ■ 心の中でお経を唱え、境内は紅葉が美しく、額縁内のよ

■ ほどなく小林多喜二が小説「オルグ」を執筆した、昔懐かしい隠れ家「旅館福元館」の離れを見学。当時主人が特高を恐れずに匿ったのだと思われました。
 ◆ ◆ ◆
 ■ 最後に、地ビール、地酒・盛升で喉を潤し、女性はアイスクリームを堪能しました。



みんな揃って

震災の能登を訪ねる

角田 英昭

投稿



更地となった朝市跡



隆起した輪島市役所

海岸を埋め立てた温泉地

昨年11月、瀧澤正行さんらと震災の能登を訪ねた。和倉温泉は海に温泉が湧いたことで海岸を埋め立てて宿を建設した。そのため地震で地盤沈下、大きな被害を受けた。現在、完全復旧している宿は20のうち7つだけ、従業員の多くは休業補償ももらい再開を待っている。

崖の崩落、道路の歪み

翌日、「のと里山海道」で輪島に向かうと様子が一変する。道路沿いの崖は各所で崩落し、道路は歪み、

再開のメドたたず

輪島市役所にもびっくり。庁舎が五〇cm以上隆起し、基礎がむき出しになっている。補修もできず業務を続けている。輪島塗会館も敷地が波を打ちたたわんだまま、川も隆起し橋桁が浮き上がっている。朝市跡は全くの更地で、草が生え、荒涼としている。再開のメドはたっていない。

全面復旧めざす千枚田

白米千枚田も地震で田に亀裂が入り、地下水が溢れ、農業用水も破壊された。今年は250枚で田植えが行われた。既に稲刈りは終わっており、全面復旧を目指している。

すさまじい光景

海岸線を珠洲に向かうと更にすさまじい光景が出現する。切り立った崖は至る所で崩落し、道路やトンネルを埋め尽くし、巨大な岩が転がっている。海岸も隆起している。海沿いという回路を作っているが、冬場は

うねっている。アップダウンもかなりあり車が大きく揺れる。

仮設住宅で入居者から話を聞く。「この先、どうなるのか不安。部屋も狭く2人で六畳一間。夫は家から殆ど出ない。災害公営住宅もこれから。何もかも遅れている」と。

日本海の荒波をかぶり危険で、早くトンネルを復旧したいという。

「すず塩田村」も震災と豪雨で大きな被害を受けた。伝統ある製塩法を守ろうと再開しているが、経営は厳しい。特産の揚げ浜塩を買う。深刻な人手不足

珠洲も山を越えた市役所側は輪島とは異なり、地盤沈下が激しく、津波も襲いかかった。今も震災で市外に避難している人は多く、学齢期の子は約3割が戻ってきていない。人手不足も深刻で事業を再開しても人が確保できないという。

先の見えない過酷な日々

輪島、珠洲の人口は震災後35000人、26000人も減少しており、過疎化が進み高齢化率も高い。これから奥能登は厳しい冬を迎える。先の見えない過酷な日々が続く。災害対策の遅れ、貧弱さを痛感した。



生活が不安な仮設住宅

身の縮む仮設の暮らし布団干す明日へと苦勞飲み干す今年酒春告げる御陣乗太鼓の勇ましく

道 歩 散 啄木の故郷と 五百羅漢を訪ねて 岩手旅行

コロナ以降、出不精になっていきます。以前は夫婦で国会19日行動に参加していましたが、今は月に1回藤沢の本屋と床屋に行く程度です。ただ、年2回程度夫婦で旅行するようにしています。近くに住む娘の二男がシア・ギブス症候群という重度障害があり、妻が学校への送りを担っているの、なかなか三日四日の日程を組むのも大変なこともあり、今年は7月に岩手に行っただけで、秋は取りやめました。

岩手を選んだ理由は、啄木の故郷洪民を訪れることと、火野正平さんが「こころ旅」(NHK)で訪れた、陸前高田普門寺の五百羅漢に行くことでした。啄木は25歳の時に歌集「一握の砂」、「時代閉塞の現状」等を発表し、社会の矛盾を鋭く表現しました。洪民の小さい丘に啄木記念館があり、振り返ると雄大な岩手山が眼前に広がっていました。普門寺には、東日本大震災で家族を亡くした方たちが奉納した家族や愛犬等を模した羅漢像が境内に穏やかに座していました。

(小川 清)

元気をもらった “手づくり文化祭”

神奈川自治労連退職者会主催

濱田 公明



「若者たち」を大合唱



高橋和江さんのフラダンス

毎年気になっていたのですが、10月25日初めて文化祭に参加しました。常磐線が止まったので、15分遅れて横浜市従会館に到着。加瀬実行委員長、来賓の挨拶には間に合わず、こだま会中嶋さん・池崎さんのピアノ・合唱等も終わっていました。

ホームカミングデーながら

ホムカミデーながら、この会は、こだま会並木さんと市従佐野さん。ホール・ステージ発表は、温泉場の演芸大会の雰囲気ですが、こだま会瀧本さん（元・神奈川フィドル）は、チェロ演奏！そして、楽器、ダンス、南京玉すだれ等やカラオケで楽しく盛り上がりました。退職者の年一度の祭。大学のホームカミングデーという感じでした。日頃のカラオケ成果を披露したい方は是非！



木澤さんのグループがウクレレ演奏

恥ずかしながら私も飛入りで参加しました。

若者たちを合唱

お昼は、崎陽軒の「おべんとう秋」。お酒も販売。市従の方からの差入れも。血圧・体脂肪測定コーナーもあります。

ステージの最後は、こだま会全員で「若者たち」を合唱しました。

作品展示に惹かれて

4階が動ならば、3階（会議室）は静の各種作品等展示です。こだま会からは、絵画、写真、絵手紙、俳句短冊、歴史教室及び山梨バス旅行紹介等でした。個人的には、笈川さんの写真アルバム「横浜線蒸気機関車の記憶」や東急大井町線二子橋

1966年の貴重な写真に惹かれました。私も初めて写真（A4）3点を展示させていただきました。もっと会員の皆さんが、旧作でも使い回しても良いので、気軽に出品されると良いと思いました。

より多くのご来場を

実行委員他、皆さん、冷たい雨中、準備も含めてありがとうございました。元気を貰いました！
こだま会からは25名参加とのこと。全体では延べ130名くらいでしょうか。

会場は桜木町駅の坂の上ですが、来年は、より多くの会員が来場されます様、PRも含めて報告とします。



飛び入りで参加した濱田さん



源氏山公園頼朝像

歴史教室

鎌倉散策 パートⅦ

源氏山周辺の寺社を訪ねる

.....
 10月16日歴史教室に初めて参加しました。22人が鎌倉駅前に集まり、冒頭一杉講師から散策行程と鎌倉幕府の源氏は三代と短命で、北条氏への執権政治に移った背景説明を受けました。

約13000歩の散策

当初晴れもありましたが後は曇り。暑くも寒くもなく秋の一日。異神社〜八坂大神〜寿福寺〜英勝寺〜海蔵寺〜化粧坂(けわいざか)〜源氏山〜銭洗弁財天〜佐助稲荷神社へ、最後に三洋館の一つ旧古我邸まで約13000歩の散策でした。

鎌倉らしい散策を満喫

寿福寺は源頼朝の死後、北条政子が創建した寺で裏山のやぐら内にある五輪塔は北条政子と源実朝のものと伝えられ、本堂は非公開でしたが、木立の足元が苔に覆われた参道で鎌倉らしい散策を満喫できました。

萩の花の出迎え

扇が谷の奥の仏殿に薬師如来像が鎮座する海蔵寺を訪れました。海蔵寺は「花の寺」としても有名で、山門をくぐると庭園には萩が咲き誇り出迎えてくれました。境内奥の南の巖窟に「十六ノ井」があり、暗い中を手持ちライトで照らし十六の丸穴を見る事ができました。これは納骨穴ではないかとの説明でした。



萩の寺「海蔵寺」

唐澤 志郎

最高の眺め

源氏山へ向かう「化粧坂」切通しは鎌倉七口の一つで新田義貞の鎌倉攻め激戦地の面影を残し、大きな岩や急坂があり、雨上がりの崖道を足元に注意しながら登りました。

源氏山での昼食後、銭洗弁天で小銭を洗い、佐助稲荷神社の朱の鳥居の大小様々な白狐を眺めて登りました。ここは葛原岡・大仏ハイキングコースでもあり、眺めは最高でした。

第42回 こだま会定期総会のご案内

と き 2026年6月19(金) 10時受付
 10時30分開会 12時30終了
 ところ J R本郷台下駅下車 徒歩5分
 神奈川県立地球市民かながわプラザ
 (あーすぶらざ) 1階会議室

☆終了後、懇親会
 ☆詳細は次号「こだま会報152号」をご覧ください。

お悔やみ申し上げます

11月15日以降、事務局に連絡をいただいた亡くなられた会員の方々です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- | | |
|--------|-----------|
| 宮本 康之 | 様(1938年生) |
| 宮下 光 | 様(1940年生) |
| 石川 清子 | 様(1945年生) |
| 添田 翼 | 様(1940年生) |
| 田平 実 | 様(1941年生) |
| 越水 悦子 | 様(1926年生) |
| 渡邊 治郎 | 様(1941年生) |
| 雨宮 和雄 | 様(1936年生) |
| 服部 千代松 | 様(1937年生) |
| 振旗 勝兵 | 様(1943年生) |
| 阿久津 智 | 様(1938年生) |
| 石川 武男 | 様(1936年生) |
| 安西 宣之 | 様(1935年生) |
| 柳瀬 節子 | 様(1950年生) |

「こだま俳壇」(十二月句会)

ため息をみんな吐き出し去年今年

中野みどり

神将の眼千年冬北斗

友井 眞言

幸せと言って布団を被りけり

高橋 和江

布団干す今日の仕事は終わりけり

松尾佐知子

去年今年平和を願い一人酒

瀧澤 正行

裸木の空に向かつて背伸びする

常世田芳子

去年今年まだ七十とつぶやきぬ

大塚 敏高

特高がぬつと顔出す開戦日

角田 英昭

クリスマス病む夫おりて楽しめず

小室 豊子

凧や背中丸める登校児

白井保次郎

正月や新しくする割烹着

柳瀬 節子

どっかりと頂に雪今朝の富士

島田多嘉子

アメ横へメモ携へて年用意

田中 一男

政局の去年今年こそ和を願ふ

後藤 貞夫

哀しみをこらえて冬の満月よ

並木まり子

凹凸とマスクがゆるる朝のケア

中村 桂子

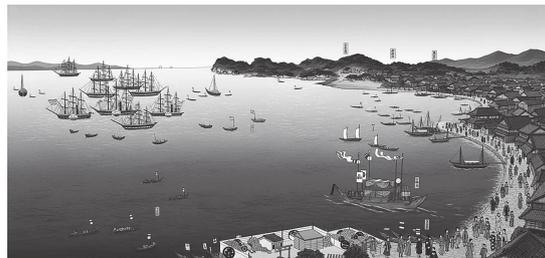
軽く強く父の布団を叩きけり

講師 太田土男先生

歴史散策一口話 (第2回)

横浜開港：神奈川がなぜ横浜に？

歴史散策ガイド 一杉雄二



5 港開港

1858(安政5)年の日米修好通商条約の締結を皮切りに徳川幕府は、米・英・仏・蘭・露の5か国に、神奈川、長崎、兵庫、箱館、新潟の5港開港を約束します。

横浜道の築道と関内地区の整備

当時、神奈川宿から見えた横浜村は海面を隔て、陸側は野毛山に遮られた寒村でした。

開港地を少しでも江戸から遠ざけ、外国人と攘夷派との接触・衝突を避けたいと考えた幕府が「横浜村は神奈川の一部である」と主張して、神奈川と村を結ぶ海岸沿いに横浜道

を築造し、村民101戸を移転させた後の村の中心地(現県庁の位置)に運上所を開設、外国人向け貸家を建築するなど、関内地区の整備を進めると、貿易商や宣教師、ホテル業などの関係者を含め多くの外国人が移住します。

「開港地横浜」誕生

当初、幕府の方針に反発して神奈川宿の寺を領事館としていた各国政府は、1875(明治8)年頃までに、自国民の要請に応じて関内に領事館を移転することになります。

こうして「開港地横浜」が誕生しました。

貿易商などの経済人が多数を占めた居留民が領事館の関内移転を母国に促した理由は、広大な吉田新田に開港地としての発展可能性を見出していたからです。後に、吉田新田は伊勢佐木町など、中心市街地へと変貌します。

建前に拘る「官」と利に聡い「民」のメンタリテイの違いは、古今東西を通じた真理のように思えます。

医療伝道宣教師 ヘボン来日

開港3ヵ月後の1859(安政6)年10月、ヘボン式ローマ字で知られる米国長老派教会の医療伝道宣教師 J. C. ヘボンが来日します。

ヘボンは神奈川宿の成仏寺に住まいを定め医療活動に励む傍ら、初の和英辞典「和英語林集成」の編集、新約聖書の和訳、明治学院(現明治学院大学)初代総理など多岐にわたる業績を残します。生麦事件の外国人負傷者を治療したのもヘボンでした。

ちなみに、ヘボンの綴りはオードリー・ヘップバーンと同じHepburnです。「ヘ」を強く発音した「ヘッバーン」が「ヘボン」になり、これが気に入ったヘボンが、「平文」と署名したこともあったようです。

フォト俳句



加藤武久さんの作品

喜寿過ぎて新たな友よ梅ふむ

「第38回日本高齢者大会 inさいたま」に参加

中嶋ひとみ

11月11日・12日大宮ソニックシティで「第38回日本高齢者大会 inさいたま」が開かれました。沖縄から北海道までオンライン含めて2540人の参加者がつどい、当会からは仲戸川実副代表幹事、一杉雄二副代表幹事（オンライン参加）と中嶋ひとみが参加しました。11日は学習講座と分科会、交流会が、12日は全体会が開かれ、私は全体会のみ参加しました。

全体会オープニングは太鼓集団「響」の「秩父屋台囃子」で幕が上がりました。太鼓と横笛の演奏が鳴り響き、ついで広島、大阪、静岡、神奈川、千葉、東京、埼玉の300人を超える大合唱団により、「折り鶴」「いのちの歌」「いつでも夢を」が披露されました。核兵器のない平和な世界を願い、夢を持ち続けよう！という素晴らしいメッセージが歌を通して伝わってきて感動的でした。

記念講演は立教大学コミュニティ福祉学部教授の芝田英昭さんによる「戦後80年、命の尊厳から平和を考える」というお話でした。「社会保障と社会福祉は違う！」というスタートの話から引き込まれました。なぜ生産手段を持たない多くの人に社会保障が必要になってくるのかを、賃労働と資本の関係から話しはじめ、戦前から戦後にかけての社会保障の歴史を振り返りながら、安倍政権以後の全世代型社会保障の目指す方向についての鋭い分析をしていました。高齢者が生きがいを持って暮らせる社会を作るためには、全世代型社会保障路線は世代間対立を煽り、社会を崩壊させかねない！という結論で、なるほど、このままでは幸せとは程遠いと感じました。

講演後は、民医連の若い医師の訴えやJALの解雇撤回を求める15年もの闘いの訴え、横浜市従退職者会の「敬老パス」の報告などがあり、皆さん頑張っているのだな、と思いました。最後に来年の第39回大会が大阪国際会議場で行われることが発表され閉会となりました。



人権を守ることを中心に据え 活動をすすめよう

— 神奈川自治労連退職者会総会 —

高橋 輝雄



10月16日、神奈川県職労連退職者こだま会、横浜市従退職者会、鎌倉市役所退職者会の各代表者が参加して神奈川自治労連退職者会第34回定期総会が市従会館で開催され運動交流、情報交換を行い、運動方針、新役員体制を確認しました。

総会冒頭で加瀬会長から、参議院選挙から自民党総裁をめぐる各種の報道にふれて「政治の右傾化」への国民の懸念を紹介しました。並木事務局次長による運動方針案の提案の討議では『「こだま会報」を会員は楽しみにしてくれている。会員の支えで150号を数えるまでになった。先輩たちの努力のたまものだ』（こだま会大塚代議員）、「本日の午前中、退職者会の企画として『鎌倉歴史散歩』を実施し鎌倉市内を歩いてきた。こういった活動を通じて仲間を増やしたい。引き続きジェンダー平等、差別と闘う運動をすすめた」（こだま会小島代議員）との発言がありました。

方針討議を経て医療福祉制度の充実へ要求運動を強める、高齢期運動連絡会など他団体との共同を、会員の拡大（単会）を進めるため三浦市職労との話し合いをすすめる、などを確認し予算案を含め、全議案を拍手で承認しました。

なお、新旧役員紹介では、今年の自治労連大会と並行して開かれた全国自治体退職者会連絡会で新たに神奈川から植木真理子さん（こだま会）が会長に選出されたことも報告され、「各県の退職者会の活動交流も進んでいる」との変化も紹介されました。

クロスワードパズルで頭の体操

◇応募要領◇

- ①ヒント：2重枠に入った文字をAからEの順に並べてできることばは？
- ②回答送付先：〒231-8588 横浜市中区日本大通1 県庁舎地下1階神奈川県職労連退職者こだま会パズル係
- ③郵便葉書に答、住所、郵便番号、氏名を記入し、3月15日までに上記②へお送りください。メールも可。
- ④賞品：正解者から抽選で3人の方にクオカード進呈します。
- ⑤発表：次号(5月15日号)

前回の答「カンノイリ」

ハ	ツ	ク	カ	イ	
ゴ	チ	ソ	ウ		ア
イ		マ	ン	ト	ル
タ	ビ	ジ		リ	マ
	オ	メ	イ		ジ
ノ	ラ		カ	ン	ロ

●当選おめでとう●

抽選で3人の方にクオカードを進呈します。カードの発送を持って発表にかえさせていただきます。

答					
	A	B	C	D	E
1		2	3	4	5
			6		
		D			
7	8			9	
E	A		B		
			12		
				C	
13					

係から：回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近かな話題などひとことを。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

12 11 8 5 4 3 2 1
たてのカギ
「生きた化石」といわれる深海魚
長野県、真田昌幸が築いた〇〇城
あげ潮、〇〇潮
質素・儉約の反対語
ファックスの印字に用いる帯状の巻きフィルム
東京都の23の区全体のこと
「雨にも負けず、風にも負けず」並べる表現方法
〇〇地
北海道の古称、〇〇地

13 12 11 10 9 7 6 1
よこのカギ
毎日の買い物に、無くして欲しい〇〇〇〇
鉄道路線には無人でなく、配置すること
砂漠の乾燥地帯にいる、大型家畜
〇〇〇〇配便、重労働だよね
〇〇〇〇〇〇の上昇は、円安で輸入品値上がり
漢字の左側は「へん」、右側は「〇〇〇〇」
魚類です、形は北海道の地図型
イルカが宙返りします、ペンギンも出演

回答はEメールでもOK kaiho@kodamakai.sakura.ne.jp こだま会報パズル係 FAXでもOK 045 (212) 3178 こだま会報パズル係

◆「歴史散策」の記事で会員の皆さんの姿を拝見しました。写真の具合か経年のためなのか、はたまた自分の認知能力の劣化のためなのか、仕事や組合で触れ合ったと思われるが、臆な方も一部。でも、皆さんの元氣な姿に活力をもらいました。

山本秀実(長野県飯山市)

◆今年4月に新会員となり、退職後は団体勤務をしています。今年ドラマで競馬が注目を浴びましたが、年末には川崎競馬に行く予定です。頑張ります。

坂上信忠(横須賀)

藤原慎一(相模原)

◆今年4月に新会員となり、退職後は団体勤務をしています。今年ドラマで競馬が注目を浴びましたが、年末には川崎競馬に行く予定です。頑張ります。

三宅杏子(厚木)

◆あつさ暑いですが、つくづくその通りですね。今は寒い寒いと、現金なものです。

石田啓子(横浜)

◆色々の方の様子がわかりうれしく思います。手先の運動の一環としてかぎ針編みで沢山の袋物を作っています。まだまだ元気でいたいから…

榎山芳恵(大磯町)



◆私の市に隣接する東富士演習場に防衛省は26年3月までに長距離ミサイルを配備することを発表した。先の10月には、その予備訓練として、自衛隊と米軍が国道246号線を封鎖して口ケツト砲訓練を強行した。敵基地攻撃だと仮にでも我が頭上にミサイルが飛び交うことは想像に絶する思い。秋からの臨時国会で補正予算に8千億円以上が上乗せで盛り込まれたが、「核保有」の発言が飛び出すなど、高市内閣には特段に注視しなければと思っっている。

佐藤榮一(富士宮市)

◆会報150号おめでとうございませう。毎号楽しみにしています。クロスワードパズルを岩柳良雄さんが作ってくださっていることを知りました。先日、京都亀岡の出雲大神宮のご神体、磐座(いわくら)を見たとき、カギ7(マントル)をふと思いました。

高木みどり(横浜)

◆四季から二季に。メリハリはつくけど、曖昧な季節感も良いですよ。ペンネーム・カエルパパ(横浜)

◆初めて出しました。頭の体操になりますね。

稲澤隆(横須賀)

◆大変ご無沙汰しております。会報150号おめでとうございませう。

西村高俊(秦野)

会員紹介

-62-

共に歩もう
退職後の人生

森合 喜文



定年後の埋蔵文化財発掘調査

皆様初めまして。県では土木の技術職員として、道路建設部門を中心に携わり、橋やバイパスが地図に残る仕事に従事し、少しだけ誇りに思っています。

広域幹線時代に、中日本高速(株)から新東名高速道路建設事業を受託し、伊勢原市域から山北町域までの区間の用地測量・用地買収業務を進めさせていただき、定年後は、公益財団法人かながわ考古学財団で、新東名関連の文化財発掘調査を10年間務めることができました。

埋蔵文化財の発掘調査で印象に残っているのは、秦野市「稲荷木遺跡」です。縄文中期の敷石住居が同一場所に3層に重なる遺構や、大規模な列石が配石墓群等に展開する珍しい遺構成果がありました。

また、厚木市の「及川伊勢宮遺跡」では前方後円墳と方墳、円墳の4基の古墳が発



発掘遺跡の全景

見され、見学会には1500名の皆さんが訪れる一大成果でした。

さらに、厚木市「中依知遺跡」では台地上の斜面地に10基以上の横穴墓が現れ、前庭部奥壁にも石を積む珍しい施設が発見されるなど貴重な経験と対面を果たすことができ、感慨深いものがありました。

70歳になり現在は、10年ぶりに古巣の厚木土木で週3日ほど勤務しています。

懐かしい思い出

組合運動についてですが、青年部・支部・本部役員を長く務めました。上部団体の選択の一票投票の時、55票の僅差で全労連・自治労連への加盟が実現したことは懐かしい思い出です。

今はゴルフを中心に地域・OBの仲間と共に楽しみ、たまにはお酒とカラオケを楽しみ、暇なときは読書に耽っています。同時に地元の自治会・管理組合の役員として、忙しい日々を過ごしています。

これからはこだま会の皆様と、「共に歩もう退職後の人生。ひとりがみんなのために、みんながひとりのために。生きがいと助け合いをもとめて」を目指してまいります。

予告!! 予告!! 予告!!

●19日国会行動(毎月)
と き: 3月19日(木) 18時30分~
4月19日(日) 14時 ~
5月19日(火) 18時30分~
集 合: 17時30分(4月は13時)
J R新橋駅S L広場

●県職員等九条の会
(フィールドワーク)
と き: 3月7日(土) 10~16時
集 合: 京急汐入駅 9時50分
場 所: 横須賀市産業交流プラザ・猿島
内 容: 午前 学習会「高市政権と神奈川の基地の動き」
午後 戦争遺跡「猿島ガイドツアー」
参加費: 3000円(乗船・入園・ガイド料2900円込)

*募集人員等詳細は、同封のチラシ参照



●てく・テクの会「小田原城と花見・そぞろ歩き」
と き: 3月31日(火)
集 合: J R小田原駅改札前10時
コース: 小田原駅→商工会議所→小田原城社公園散策
参加費: 100円
申込先: こだま会事務局(チラシ参照)

●歴史散策
テーマ: ヨコハマ山手居留地を歩く
と き: 5月20日(水)
集 合: 9時30分 みなとみらい線横浜中華街駅改札
コース: アメリカ山公園→フランス山→港の見える丘公園→横浜山手西洋館→元町商店街
詳 細: 同封のチラシ参照

●こだま会第42回定期総会
と き: 6月19日(金) 10時30分~12時30分
ところ: 神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ) 1階会議室
*終了後、懇親会

作品

岩柳良雄さんの作品



奥津弘久さんの作品